美作学講座

兼 第40回 津山市 文化財調査報告会

第３回　2月10日（土）

佐良山古墳群における ドローン測量の成果について

「全国で最も陶棺がたくさんつくられたのは、美作地域!?」
ドローンを使った最新の研究方法についてもお話しいただきました。

研究報告　光本 順 氏
（岡山大学学術研究院　准教授）

調査報告　三輪 望 氏
（津山弥生の里文化財センター）

津山城跡三の丸十八番門における 発掘調査の成果について

津山城跡に残された痕跡からわかってきたことについてお話しいただきました。
現存するのは少しの石垣のみですが、CGで復元した姿も見ることができました。

～受講者の声～

・「保存」することの大切さを改めて感じました。津山城跡も、今回のお話をふまえてまた歩いてみたいと思います。
・今は姿のないものも、古い文書や絵図からわかることがとてもおもしろいと思った。
・津山地域にこれほど古墳があったとは思いませんでした。　・技術の進歩によって新たな研究の可能性を感じました。
・佐良山古墳群が群集墳の先駆けであることを誇りに思う。そのままだと埋もれてしまうものが明らかになり、興味深かった。